

1 調査の経過と結果

(1) 施設概要について

ジュエリーハウスは、地域経済の活性化、観光振興及び町民の多様な経済活動を支援するための施設として設置された。

建物の構造は、木造平屋建てで面積が143.46㎡で、休憩所、物産販売又は展示スペースとして使用できるオープンスペースのほかに、冬期間にも使用できるトイレなどが設置されている。事業費の総額は4304万8000円で、財源の内訳として北海道の地域づくり総合交付金が500万円、辺地債が2900万円、残りの904万8000円は一般財源となっている。また、建物には、フリーワイファイの環境も整備し利用者への利便性確保にも配慮している。



(2) 利用状況について

令和2年12月の開設当初は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からトイレだけの利用となっていたが、令和3年度においては、大津地域住民を対象とし「互産互生市」を8月5日から10月28日までの間11回開催しており、累計来場者数が282人となっていた。



ジュエリーハウス（外観）

また、本格的なジュエリーアイスシーズンを前に施設のトイレを、今年の1月1日から開放しており、1月24日までの施設利用者は累計で2871人となっている。オープンスペースの開放及び

ジュエリーアイスシーズンが到来する1月下旬からは、更に施設利用者の増加が見込まれていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、オープンスペースが当分の間閉鎖されている。

今後の施設利用計画としては、1月から3月までのジュエリーアイスシーズンにおける観光客の受け入れ、4月から12月までの間においての定期的な「互産互生市」の実施、アーティスト等による展示会等の開催及びジュエリーハウスを拠点とした豊頃町の自然・文化・産業などを活かした体験メニューの提供を検討している。

(3) 施設の管理について

施設管理については、豊頃町ジュエリーハウス条例第10条に「町長は、使用者の利便を図るため町内に所在する団体等に、施設の維持管理の全部又は一部を委託することができる」と規定していることから、令和3年度においては、「一般社団法人ココロ」に年間108万6000円で施設の管理を委託している。

管理運営業務の内容としては、「町民誰もが気軽に利用できるように配慮する」「利用者が常に快適に気軽に利用できるような施設の衛生管理を行う」「火災、盗難等の予防・点検」「火災時における商工観光課への報告、避難活動、復旧活動」「事故の対応」及び「利用者からの苦情対応等」となっている。



現地調査（ジュエリーハウス内）

(4) 大津地区住民への説明

ジュエリーアイスが、多くのメディアなどに取り上げられ話題になり多くの観光客が訪れたことから、地域住民と観光客の共生を図るために、地域住民や地区の経済団体である漁協とも意見交換会を実施している。

意見交換会は平成29年度から毎年実施しており、開催回数は8回

となつている。出された意見の主なものとしては「大津が有名になることは嬉しいこと」などの好意的な意見のほかに「マナー違反」など地域住民が困っていることも多く出されていた。また、要望として「ジュエリーハウス、駐車場の位置をわかりやすく看板などで表示してほしい」「駐車禁止の看板設置」「緊急時の連絡先の表示」また「安全確保のため河口付近の堤防から海岸に降りる道路の封鎖」などが出されていた。

また、令和3年4月に大津地区住民120世帯を対象にジュエリーアイスに関するアンケート調査を実施しており、10名からの回答があった。アンケートに対する具体的な回答の内容は、「ジュエリーアイスの観光客増加については、ほとんどの方が「嬉しい」と回答していた。「観光客の増加に伴い環境整備を進めているが日常生活で困っていることについて」の回答では「看板が分かりづらいので検討が必要」「路上駐車している観光客がいる」「コロナが不安」などの意見が出されていた。「ジュエリーハウスの活用について」の回答では「ジュエリーアイス写真コンテンツ等の実施」「春から秋は気軽に入れる休憩ス

ペースで、冬はこれまで通り」などの意見が出されていた。「その他」では「地元の人憩いの場になるのではなく観光に活かしてほしい」「売店等はコロナが治まるまで控えてほしい」などの意見が出されていた。

なお、意見交換及びアンケートで出された意見等については、ジュエリーアイス観光の受入整備やジュエリーハウス運営での参考として活用しているが、今後においてもアンケート調査に回答していない方などの声を更に拾い上げる場を設けていき施設運営に反映させていくこととしていく。



観光客が利用する駐車場（令和3年1月）

2 まとめ

ジュエリーハウスの運営については、地域住民等との意見交換により住民の理解と協力を得て運営を実施することとしているが、現状においては、観光客のマナー違反を未然に防止するための周辺住

民への配慮、また、観光客が利用する駐車場に簡易トイレが設置されておらず、観光客への配慮などが必要ではとの意見が出された。

また、現在はコロナ禍でジュエリーハウスのオープンスペースが閉鎖されており通常の利用状況等が分からないことから、コロナ終息後において再度調査をする必要があるのではないかとこの意見も出された。

今後においては、継続して課題等を整理しジュエリーハウスを核としたツーリズム等の体験メニューの検討、土産品等の開発など施設を活用し交流人口・関係人口が拡大され地域経済の活性化に繋がることに期待したい。



ジュエリーアイス（早朝撮影）

議会日誌

- 〔3月〕
- 1日 議員全員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 10日 第1回定例会（1日目）
（補正予算、その他）
議員全員協議会
- 16日 第1回定例会（2日目）
（令和4年度当初予算）
- 22日 第1回定例会（3日目）
（一般質問、その他）
議会広報特別委員会
- 〔4月〕
- 4日 議会広報特別委員会
- 18日 総務文教・産業厚生常任委員会合同所管事務調査
（～20日）
- 27日 十勝圏活性化推進期成会委員会
十勝町村議会議長会定例会
（～帯広市）
- ◎今後の予定
- 〔5月〕
- 13日 第2回臨時会
- 〔6月〕
- 3日 議会運営委員会
- 8日 第2回定例会（1日目）
（補正予算、その他）
- 13日 第2回定例会（2日目）
（一般質問ほか）
- 14日 北海道町村議会議長会
定期総会
（～札幌市）

※日程は変更する場合があります。